ＧＩＧＡスクール構想の実現

令和元年度補正予算額（案）　2,318億円
公立:2,173億円、私立:119億円、国立:26億円
（文部科学省所管）

○ Society 5.0時代を生きる子供たちにとって、教育におけるICTを基盤とした先端技術等の効果的な活用が求められる一方で、現在の学校ICT環境の整備は遅れており、自治体間の格差も大きい。令和時代のスタンダードな学校像として、全国一律のICT環境整備が急務。

○ このため、１人１台端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するとともに、並行してクラウド活用推進、ICT機器の整備調達体制の構築、利活用優良事例の普及、利活用のPDCAサイクル徹底等を進めることで、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させる。

事業概要

（１）校内通信ネットワークの整備
- 希望する全ての小・中・特支・高等学校等における校内LANを整備
  加えて、小・中・特支等に電源キャビネットを整備

（２）児童生徒１人１台端末の整備
- 国公私立の小・中・特支等の児童生徒が使用するPC端末を整備

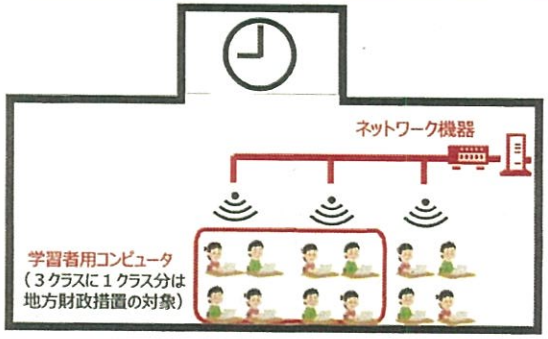
事業スキーム

（１）**公立**　補助対象：都道府県、政令市、その他市区町村
補助割合：1/2　※市町村は都道府県を通じて国に申請
私立　補助対象：学校法人、補助割合：1/2
国立　補助対象：国立大学法人、（独）国立高等専門学校機構
補助割合：定額

（２）**公立**　交付先：民間団体（執行団体）
補助対象：都道府県、政令市、その他市区町村　補助割合：定額（4.5万円）
※市町村は都道府県を通じて民間団体に申請、国は民間団体に補助金を交付
私立　補助対象：学校法人、補助割合：1/2（上限4.5万円）
国立　補助対象：国立大学法人、補助割合：定額（4.5万円）

措置要件

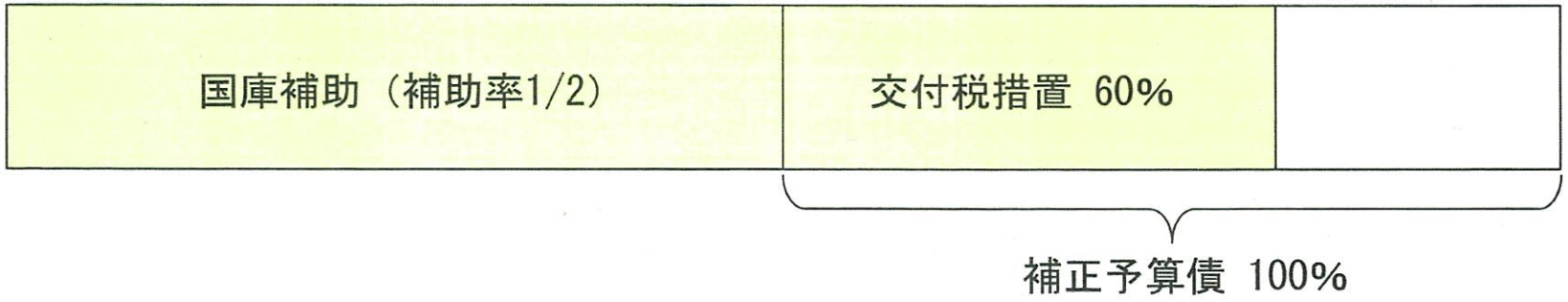
✓「１人１台環境」におけるICT活用計画、さらにその達成状況を踏まえた教員スキル向上などのフォローアップ計画
✓ 効果的・効率的整備のため、国が提示する標準仕様書に基づく、都道府県単位を基本とした広域・大規模調達計画
✓ 高速大容量回線の接続が可能な環境にあることを前提とした校内LAN整備計画、あるいはランニングコストの確保を踏まえたLTE活用計画
✓ 現行の「教育のＩＣＴ化に向けた環境整備５か年計画（2018～2022年度）」に基づく、地方財政措置を活用した「端末３クラスに１クラス分の配備」計画



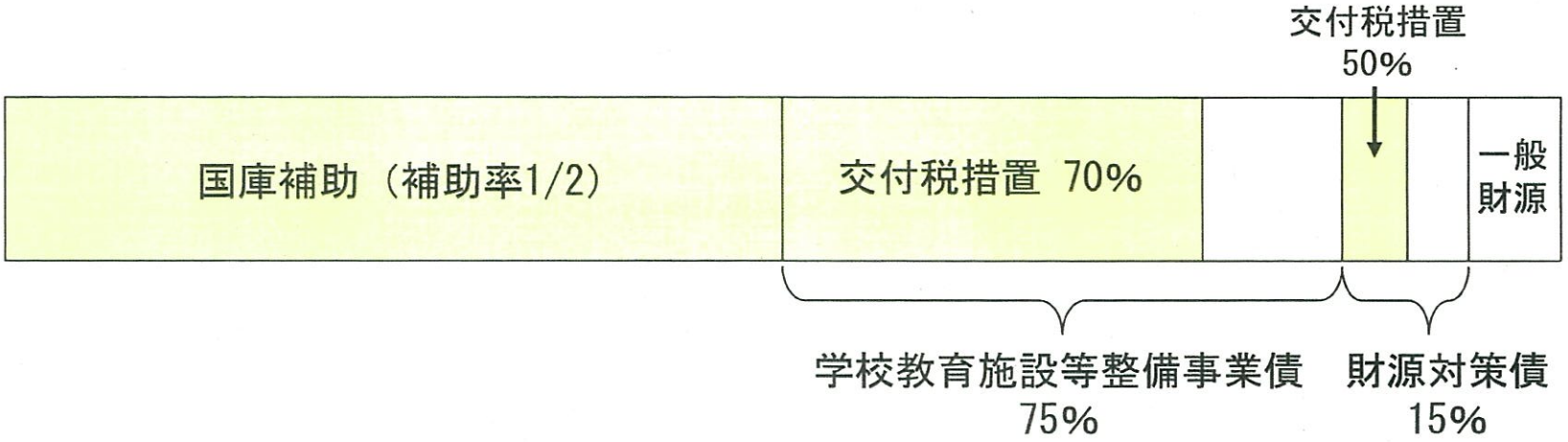
※ 支援メニュー　（① 校内LAN整備＋端末整備、② 端末独自整備を前提とした校内LAN整備、③LTE通信費等独自確保を前提とした端末整備）

「ＧＩＧＡスクール構想の実現」に向けた校内通信ネットワーク整備事業に係る地方財政措置（イメージ）

(1) 令和元年度補正予算の場合



(2) 文部科学省において令和元年度補正予算を繰り越し、令和２年度事業として実施する場合



GIGAスクール構想の実現　ロードマップ

～令和時代のスタンダードとしての学校ＩＣＴ環境を整備し、全ての子供１人１人に最もふさわしい教育を～

※Global and Innovation Gateway for All

		2019年度（令和元年度）	2020年度（令和2年度）	2021年度（令和3年度）	2022年度（令和4年度）	2023年度（令和5年度）	2024年度（令和6年度）
		１日に１～２コマ、授業展開に応じて必要な時に「１人１台環境」で、デジタル教科書やAI技術を活用したドリル等のデジタル教材を活用	端末、通信ネットワーク、クラウドをセットで整備 → 令和元年度補正予算案　2,318億円（公立:2,173億、私立:119億、国立:26億）	全ての授業で「１人１台環境」でデジタル教科書をはじめとするデジタルコンテンツをフルに活用、教師の指導や児童生徒の学びを支援する観点から学習ログを活用（多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、個別最適化された学びの実現）		➢ 保護者をはじめ社会の意識改革 ➢ 学校におけるICT活用のPDCA構築 ➢ 安価な教育用端末市場の構築	
小学校 小1～小4	イベント	学習者用デジタル教科書の制度化	新学習指導要領（ICTを活用した学習活動の充実）デジタル教科書の導入拡大				改訂教科書使用開始、デジタル教科書をはじめとするコンテンツの一層の促進
	端末 環境整備5か年計画に基づく整備	69万台（現状）	地方財政措置を活用し、自治体で3クラスに1クラス分の端末を整備		3クラスに1クラス分達成		
	国費				小３～小４	小１～小２	
小5～小6	イベント	学習者用デジタル教科書の制度化	新学習指導要領（プログラミング教育必修化など）デジタル教科書の導入拡大				改訂教科書使用開始、デジタル教科書をはじめとするコンテンツの一層の促進
	端末 環境整備5か年計画に基づく整備	35万台（現状）	地方財政措置を活用し、自治体で3クラスに1クラス分の端末を整備		3クラスに1クラス分達成		
	国費		小５～小６				
	ネットワーク（国費による無線LAN整備）※各自治体がLTEやローカル5Gも含め選択		公立全小学校の約８割				
中学校	イベント	学習者用デジタル教科書の制度化		新学習指導要領（技術・家庭科（技術分野）でプログラミングの内容充実など）デジタル教科書の導入拡大	全国学力・学習状況調査 中学校英語調査（高速通信ネットワークなどICT環境との整備状況を踏まえつつ、「話すこと」調査のCBTでの実施を検討）		
	端末 環境整備5か年計画に基づく整備	57万台（現状）	地方財政措置を活用し、自治体で3クラスに1クラス分の端末を整備		3クラスに1クラス分達成		
	国費		中１	中２～中３			
	ネットワーク（国費による無線LAN整備）※各自治体がLTEやローカル5Gも含め選択		公立全中学校の約８割				
高等学校	イベント	学習者用デジタル教科書の制度化			新学習指導要領（全生徒情報Ｉ必修化など）デジタル教科書の導入拡大 大学入試の調査書の電子化		
	端末 環境整備5か年計画に基づく整備	49万台（現状）	地方財政措置を活用し、自治体で3クラスに1クラス分の端末を整備		3クラスに1クラス分達成		
	ネットワーク（国費による無線LAN整備）※各自治体がLTEやローカル5Gも含め選択		公立全高等学校				
その他のイベント		ICTを活用した教科の指導法が教員の養成課程で必修化	教育データの標準化、先端技術利活用ガイドラインの策定		次期SINET運用開始		

環境整備5か年計画

遠隔・オンライン教育、デジタル教科書・教材、統合型校務支援システム、学習ログの活用促進
学習の定着度合いを把握する手段として、CBTをはじめとしたICTの活用促進
これらに必要となる教員養成・研修や指導体制の充実、専門的人材の確保、外部人材の参画促進

１人１台の端末から個人の教育データを収集し、分析、最適な結果を１人１人にフィードバックする個別最適化された学びの実現

安価な環境整備に向けた調達改革

学習者用端末の標準仕様

「新時代の学びを支える先端技術活用推進方策」の考え方に基づき、学習者用端末の標準仕様を提示
本来、調達は学校の活用方法に応じて柔軟に行われるべきものとの前提で、簡便な調達に向けたモデル例とする

- ３ＯＳごとの標準仕様を提示
- 十分な通信ネットワークとクラウド活用の下でのブラウザベースでの活用が大前提
- 米国の３００ドルパソコンを念頭に、大量調達実現を含めて、５万円程度の価格帯
- デジタル教科書・教材等の操作性向上に資するタッチパネル・ハードウェアキーボード、QRコード読み込みを想定したインカメラ/アウトカメラを共通仕様に
- Wi-Fiを補完するＬＴＥも選択肢の１つ

校内ＬＡＮ整備の標準仕様

「ＧＩＧＡスクール構想」に基づく、校内ＬＡＮ整備の標準仕様を提示

- 工事が必要となるケーブルはカテゴリー６Ａ以上対応
- ハブやルータ、スイッチ類は、将来の市場展開に応じた容易な更新を可能とすることを念頭に、１Gbpsの普及モデル
- クラウド活用はもとより、大容量の動画視聴やオンラインテストをストレスなく行えること
- 校内ＬＡＮ整備と同時に行われるクラウド環境等構築、電源キャビネットの整備

都道府県レベルでの共同調達の枠組み構築

標準仕様など活用しつつ、以下のようなメリットを生かすため、都道府県レベルでの共同調達を推進

- 枠組みに参入することで、知見の少ない自治体でも容易に整備が可能となる
- 大量調達となり、産業界との交渉力が大きく高まる
- 都道府県内で枠組みに参加した市区町村なら教員の異動や児童生徒の転校でも円滑に利活用が継続できる
- 都道府県による教員のＩＣＴ利活用推進に向けた方策が統一的に実施できる

学習者用端末の標準仕様

「新時代の学びを支える先端技術活用推進方策」の考え方に基づき、学習者用端末の標準仕様を提示
本来、調達は学校の活用方法に応じて柔軟に行われるべきものとの前提で、簡便な調達に向けたモデル例とする

- ３ＯＳごとの標準仕様を提示
- 十分な通信ネットワークとクラウド活用の下でのブラウザベースでの活用が大前提
- 米国の３００ドルパソコンを念頭に、大量調達実現を含めて、５万円程度の価格帯
- デジタル教科書・教材等の操作性向上に資するタッチパネル・ハードウェアキーボード、QRコード読み込みを想定したインカメラ/アウトカメラを共通仕様に
- Wi-Fiを補完するＬＴＥも選択肢の１つ

あくまでモデルであり、各自治体が各学校での活用を想定して仕様書を作成

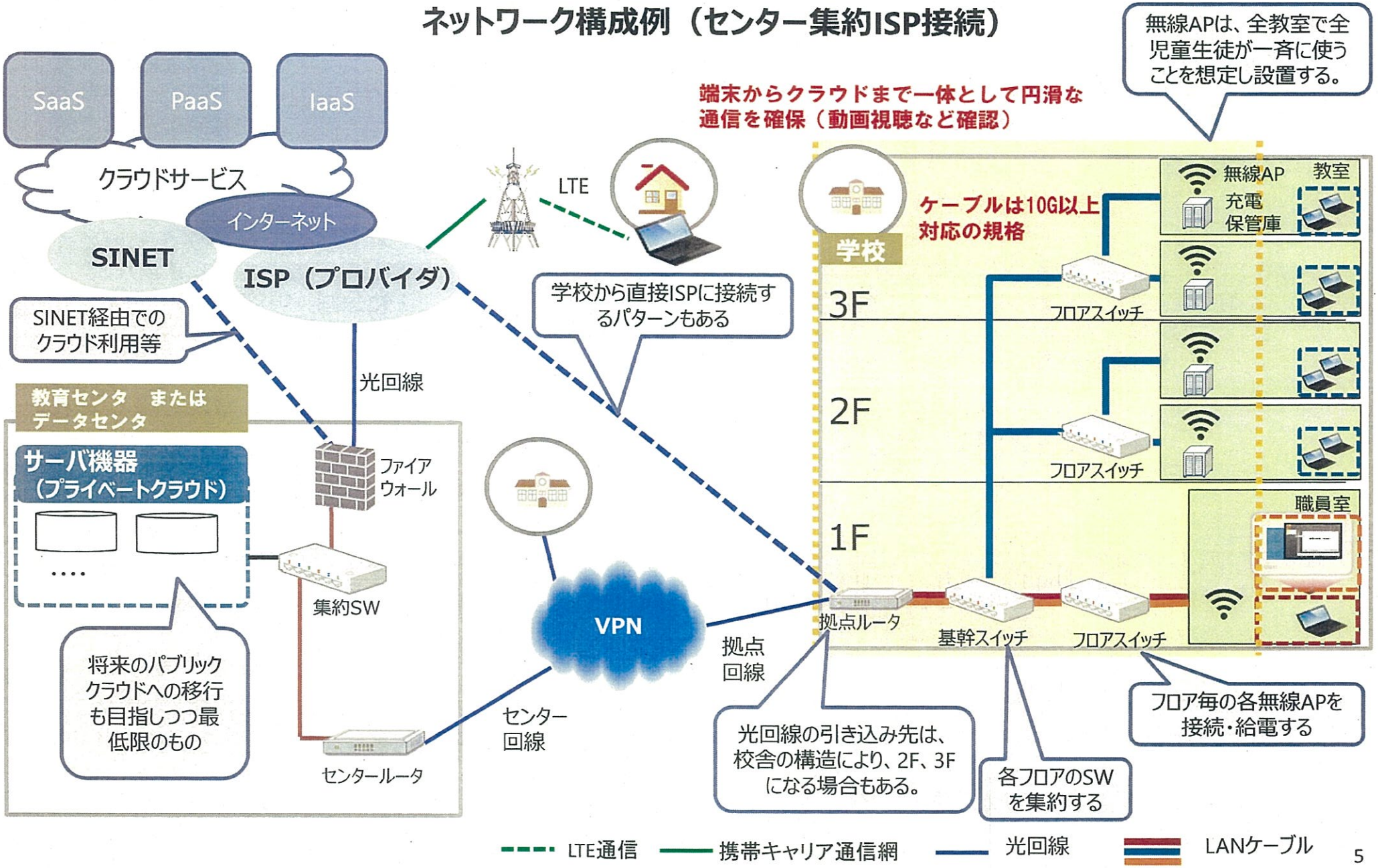
● Microsoft Windows
- OS：Microsoft Windows 10 Pro
- CPU: Intel Celeron 同等以上
  2016年8月以降に製品化されたもの
- ストレージ:64GB
- メモリ:4GB
- 画面：9～14インチ

● Google Chrome OS
- OS：Google Chrome OS
- CPU: Intel Celeron 同等以上
  2016年8月以降に製品化されたもの
- ストレージ:32GB
- メモリ:4GB
- 画面：9～14インチ

● iPadOS
- OS：iPadOS
- ストレージ:32GB
- 画面：10.2～12.9インチ

● ３ＯＳ共通仕様
- 無線 IEEE 802.11a/b/g/n/ac以上
- LTE通信対応も可
- Bluetooth接続でないハードウェアキーボード
- 音声接続端子：マイク・ヘッドフォン端子
- 外部接続端子：１つ以上
- バッテリ：8時間以上
- 重量：1.5kg未満
- タッチパネル対応
- インカメラ/アウトカメラ

● 保証
- 原則1年
- センドバック方式(2週間程度で返却)
- 端末不調時の予備を常備

校内ＬＡＮのモデル調達仕様書例

ネットワーク構成例（センター集約ISP接続）